

青総探究ジャーナル vol.4

～産業社会と人間編～

発行日：2026年7月24日 執筆：廣田大樹

マインドマップ講習を行いました！

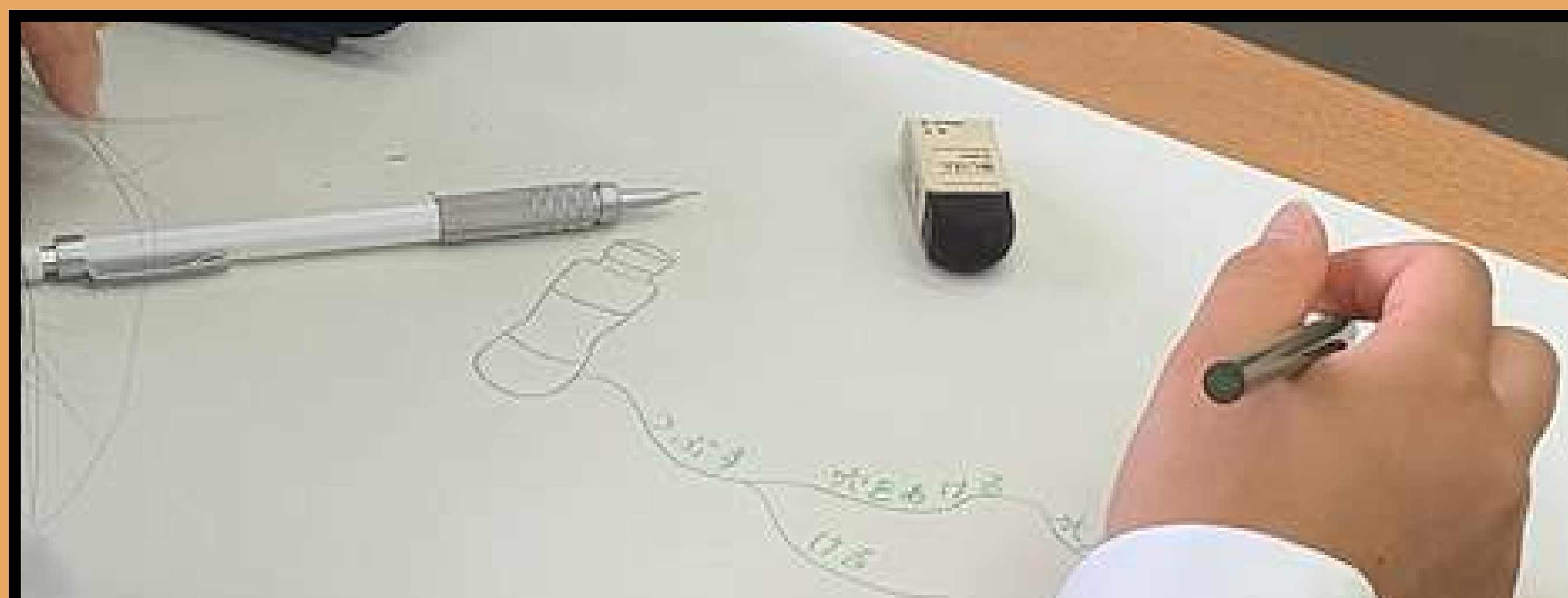
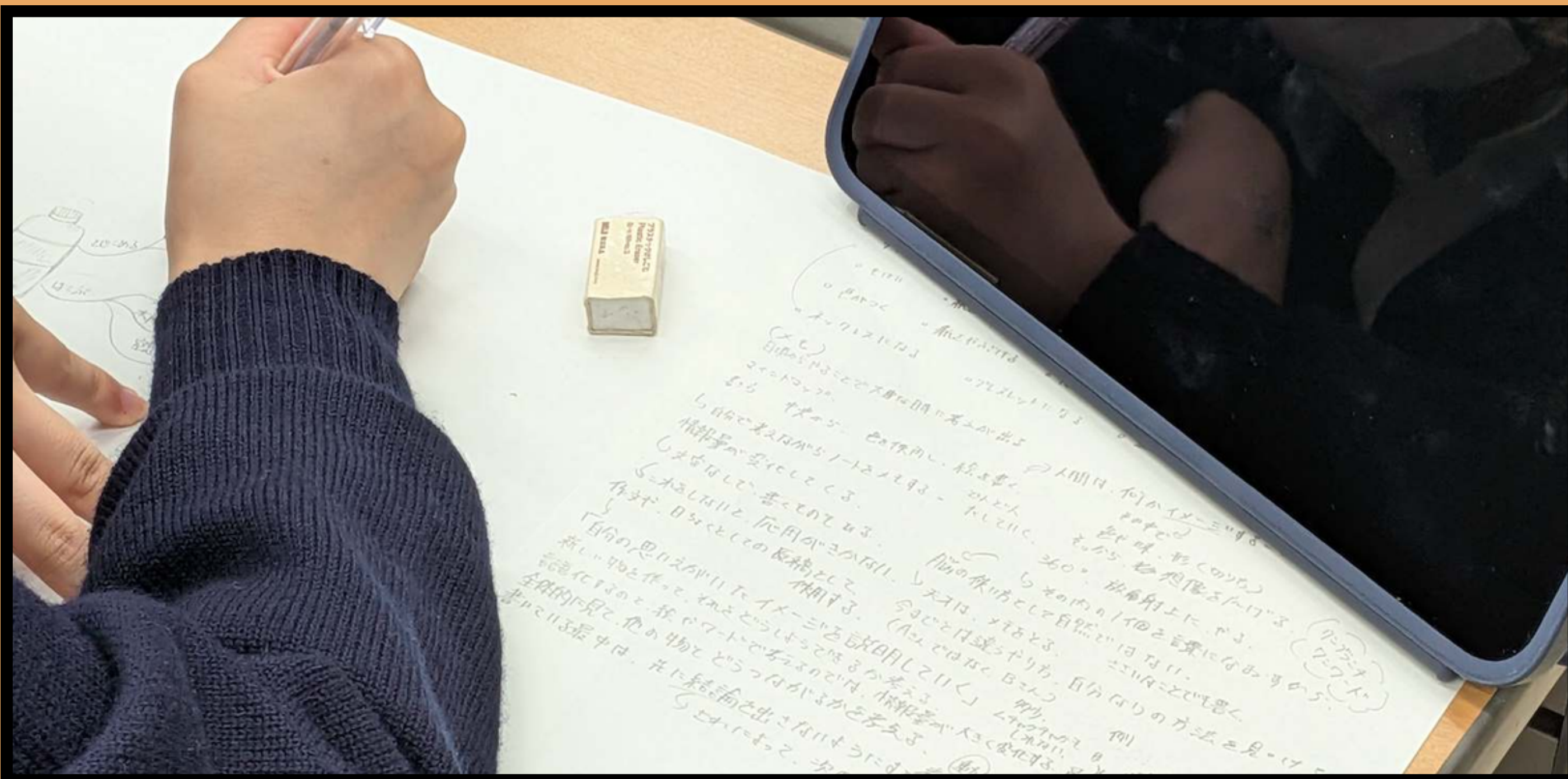
6月23日と30日にマインドマップ講習を行いました。

マインドマップとは、中心となるテーマから連想されるキーワードやアイデアを放射状に広げていく思考整理のフレームワークです。生徒自身の興味関心を広げていくことに加え、学習においても利用することができます。

23日の講習では、誰もが知っている「ペットボトル」、「空き缶」などをテーマにマインドマップを書く練習を行いました。生徒が書いたマップを見てみるとそれぞれの視点で、様々なアイデアが整理されていました。

また、30日の講習ではレベルを上げて日々の学習や進路実現に向けた活用方法を学びました。学んだことをそのまま暗記するのではなく、自身に落とし込んで考えながらまとめるこの手法は、知識などの暗記に限らず思考力を高めることにつながります。自身の考えをまとめ表現する活動は、今後の面接や小論文といった進路活動にも良い影響をもたらします。

夏休みの宿題として「1学期の産業社会と人間」を中心テーマにマインドマップを書くことを課しています。十人十色なマインドマップを9月に見られることを楽しみにしています。



ビブリオバトルを実施しました！

7月14日にビブリオバトルを実施しました。

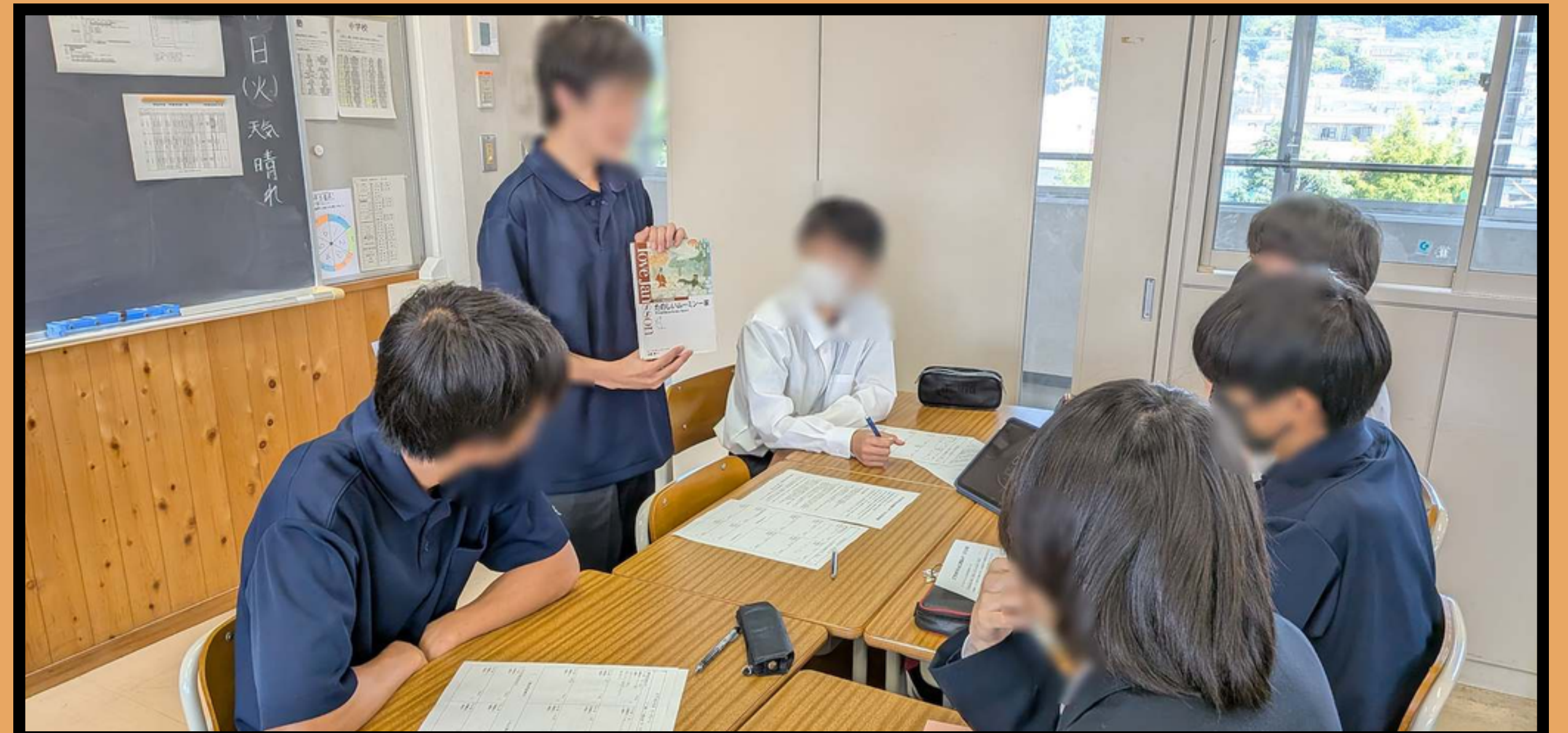
ビブリオバトルとは発表者がおすすめの本を持ち寄り、1人5分間で魅力を語り合う「書評合戦」のことです。本校ではインターネットの情報だけでなく、書籍から得られる情報についても重要視しています。そのため、「本を読む」こともこの産社の大きなテーマです。

今回は本校の充実した図書室も利用しつつ発表準備を行いました。生徒は様々な書籍を紹介しながら班の代表を決め、クラス代表を決めました。持参した書籍の内容を熱弁しながら紹介している生徒もいれば、周りのクラスメイトに質問をしながら対話形式で紹介している生徒もいて、色々な発表方法が見られました。

今回選ばれたクラス代表の生徒は2学期に代表戦を行い、学年代表を決めます。代表となった生徒は11月に開催予定の東京都大会に出場します。

本校には充実した図書室があります。以下のリンクより図書室の様子を見ることができるので、ぜひご覧ください！

【図書室の紹介】
[図書室の紹介はこちら！](#)



担当より

産業社会と人間では、様々な取り組みがあります。それはすべて生徒自身が自らの力で進路実現をし、その先の人生を歩いていく力の基礎をつくります。予測困難な世の中だからこそ、自分自身の力で生き抜く術を身に着ける必要があります。そんな力の一部を身に着けながら高校生活を送ってみたいと思います。